

2013年度 同志社大学大学院 司法研究科 入学試験問題〔小論文〕

第1問（配点：100点）

次の文章1は、出口治明氏が本年のある新春講演会で行った「日本の競争力」と題する講演のうち、「異常な少子高齢化・異常な財政赤字」と題する段落の冒頭部分の記録（U7volume43 May 2012（GAKUSHIKAI）p31）です。また、文章2は、「天才詩人ランボーの夢」と題する論説（高木雅信 読賣新聞 平成24年5月21日朝刊「解」）です。これらの文章を読んで以下の問に答えなさい。

問

現在の日本における重大な課題である少子高齢化および財政赤字の生じる大きな原因をあなたはどのように考えますか。文章1，2を参考にしながら1000字程度で自論を展開しなさい。

【文章の掲載は、省略。】

出典（文章1）：出口治明『日本の競争力「異常な少子高齢化・異常な財政赤字」』
（U7volume43 May 2012（GAKUSHIKAI）p31）

出典（文章2）：高木雅信『天才詩人ランボーの夢』
（読賣新聞 平成24年5月21日朝刊「解」）

第2問（配点：100点）

以下の文章において筆者の考える自由の本義（真髓）とは何か、外部の矩と内部の矩の意義を明らかにしつつ、200字以内で要約しなさい。

【文章の掲載は、省略。】

出典：新渡戸稲造『自由の真髓』
（鈴木範久（編）『新渡戸稲造論集』（2007年，岩波文庫）206頁-214頁より，ルビ等を一部変更して引用。初出は『実業之日本』22巻5号（実業之日本社，大正8年3月1日））